

<p>■ 伊勢型紙</p> <p>○伊勢型紙コーナー扉絵</p> <p>○各種伊勢型紙</p> <p>○左手綱(元禄5年)</p> <p>○夾竹桃(元禄7年)</p> <p>○くじかくの羽づくし (文化11年)</p> <p>○昆沙門亀甲(安政2年)</p> <p>○伊勢型紙技術保存会 会長 六谷 泰英さん</p> <p>○突彫り</p> <p>○錐彫り</p> <p>○道具彫り</p> <p>○縞彫り</p> <p>○伊勢型紙を彫る職人</p> <p>○伊勢型紙を彫る職人寄 りからパンダウン型紙の 様子が見える</p> <p>○彫られる型紙のアップ</p> <p>○職人さんインタビュー</p>	<p>04:01</p> <p>04:08</p>	<p>N 三重を代表する工芸品に 伊勢型紙(いせかたがみ)が あります。</p> <p>N 伊勢型紙は、着物の生地を染める 際に用いるもので、 その歴史は、千年を数えます。</p>
<p>○職人さんインタビュー</p>	<p>04:52</p> <p>04:58 (OP)</p>	<p>N こちらの 生田嘉範(いくたよしのり)さんは、 伊勢型紙、突彫りの職人。</p> <p>N 図案と呼ばれる 日本古来の文様などが描かれた 下絵を使い描かれた模様を 一つ一つ丁寧に切り抜いていきます。</p> <p>「刀を上下に動かして、突き進んで彫っ ていくっていうのが、特徴的と違うか な?と思います。だいたい刃物って引い て切りますもんね。」</p>
		<p>「伊勢型紙は、4つの彫刻技法がありま して、突彫り、錐彫り、道具彫り、縞彫 りと、一番大事なことは刃物がよく切 れるというのがもう作品に現れてきま す。型紙に現れてくるということです な。伊勢型紙というのは手仕事なんです ので、自分の彫刻したものが、良いよう に彫ついても、なかなか難しいと、それ が伊勢型紙の難しさ何でしょうな。」</p>

○彫り進む職人	05:23	N わずかな線の揺れが生み出す、手作り感も、その特徴だとか。
○白子山 子安神社	05:29	N 伊勢型紙の作り方は、その境内にある天然記念物・不断桜の虫食いの葉にヒントを得て始まったと言われています。
○境内の不断桜 ○虫食いの葉	05:46	N そして、この伝統工芸を支えるもう一つの技、それが伊勢型紙を彫る紙、型地紙(かたじがみ)の存在です。
○伊勢型紙を彫り続ける	05:57	N 正確に刃物で彫り進める伊勢型紙には、強くて伸縮しない紙が必要になります。そのため、3枚の美濃和紙をベニア状に貼り付けて作っていきます。
○紙つけ作業の様子	06:14	N 貼り合わせるために使われるのが、渋柿から抽出される柿渋(かきしぶ)です。柿渋には、収斂性(しゅうれんせい)があるため紙同士が硬く結ばれ、強い紙に仕上がるのだと言います。
○紙つけ作業の柿渋の液体がわかるカット	06:32	N 紙つけの終わった紙は、桧(ひのき)の板に貼り、天日干し(てんぴぼし)に。
○柿渋の樽	06:40	N その後、室干枯らし(むろがらし)という工程で、およそ1週間、
○天日干し		
○室干し		

<p>○天日干しされる型地紙 ○型地紙ズームイン</p>		<p>燻煙室(くんえんしつ)で燻されます。 そして、同じ工程をもう一度繰り返すことで、 丈夫で独特の風合いを持った型地紙が完成します。</p>
<p>職人 ○伊勢型紙を彫り進める</p>	<p>07:02</p>	<p>N 伝統の技法の組み合わせで作られ、受け継がれている伊勢型紙。これはまさに「美し(うまし)」「一品です。」</p>